



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月1日

上場会社名 株式会社JVCケンウッド 上場取引所 東  
コード番号 6632 URL <https://www.jvckenwood.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 江口 祥一郎  
最高経営責任者 (CEO)  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 専務執行役員 (氏名) 宮本 昌俊 TEL 045-444-5232  
最高財務責任者 (CFO)  
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト及び機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	267,258	8.0	16,015	42.8	14,982	△23.2	14,932	△22.8	10,922	△29.6	17,928	△8.2
2023年3月期第3四半期	247,497	27.2	11,216	-	19,506	438.1	19,343	528.5	15,513	-	19,537	379.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	70.24	69.88
2023年3月期第3四半期	94.89	94.75

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	306,847	113,324	107,031	34.9
2023年3月期	299,355	103,731	98,807	33.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期（予想）				8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 期末配当金の内訳：普通配当 7円00銭 特別配当 5円00銭

2024年3月期 期末配当金の予想：普通配当 8円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	355,000	5.4	18,500	16.8	16,500	△23.7	15,500	△26.8	10,500	△35.3	67.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	164,000,201株	2023年3月期	164,000,201株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	13,223,875株	2023年3月期	516,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	155,499,848株	2023年3月期3Q	163,484,515株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2024年2月2日（金）にアナリスト及び機関投資家向けにオンライン説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料については、2024年2月1日（木）に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(当第3四半期の概況)

当社は企業価値最大化へ向けて当社の強みが活かせる収益性の高い市場への事業ポートフォリオ変革に際し、当社の目指す事業戦略を明確にするため、2023年4月1日付で、「パブリックサービス分野」を「セーフティ&セキュリティ分野」へ、「メディアサービス分野」を「エンタテインメント ソリューションズ分野」へそれぞれ名称変更いたしました。

当社及び連結子会社における当第3四半期連結累計期間の全社売上収益は、セーフティ&セキュリティ分野の無線システム事業の好調継続に加え、モビリティ&テレマティクスサービス分野のOEM事業が堅調に推移したことなどから前年同期比で増収となり、全社事業利益は大幅な増益となりました。全社営業利益については前年同期比で減益となりましたが、前期の第3四半期連結会計期間に計上した固定資産譲渡益(約97億円)の影響を除けば、前年同期比で大幅な増益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績のサマリーは以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比	増減率
売上収益	247,497	267,258	+19,760	+8.0%
事業利益 <sup>※</sup>	11,216	16,015	+4,798	+42.8%
営業利益	19,506	14,982	△4,524	△23.2%
税引前四半期利益	19,343	14,932	△4,410	△22.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,513	10,922	△4,590	△29.6%

※売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含みません。セグメントの業績評価は「事業利益」を使用して説明します。なお当期より、「コア営業利益」から「事業利益」に名称を変更しております。

また、当第3四半期連結累計期間の決算に使用した損益為替レートは以下のとおりです。

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計 (参考)
損益為替レート	米ドル	約137円	約145円	約148円	約143円
	ユーロ	約150円	約157円	約159円	約155円
前期(参考)	米ドル	約130円	約138円	約141円	約136円
	ユーロ	約138円	約139円	約144円	約141円

## \* 売上収益

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、セーフティ&セキュリティ分野の無線システム事業の販売が、前期に引き続き非常に好調に推移したことに加え、モビリティ&テレマティクスサービス分野のOEM事業、エンタテインメント ソリューションズ分野のエンタテインメント事業の販売が堅調に推移したことなどから、全社では前年同期比で約198億円増(8.0%増収)となる2,672億58百万円となりました。

## \* 事業利益

当社は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したものを「事業利益」としています。

当第3四半期連結累計期間における事業利益は、増収となったことなどから、前年同期比で約48億円の大幅増(42.8%増益)となる160億15百万円となりました。

## \* 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、事業利益は大幅な増益となったものの、前期は第3四半期連結会計期間に固定資産譲渡益(約97億円)を計上したことなどから、前年同期比で約45億円減(23.2%減益)となる149億82百万円となりました。

## \* 税引前四半期利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、営業利益が減益となったことなどから、前年同期比で約44億円減(22.8%減益)となる149億32百万円となりました。

## \*親会社の所有者に帰属する四半期利益

当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益が減益となったことなどから、前年同期比で約46億円減益(29.6%減益)となる109億22百万円となりました。

## (セグメントごとの売上収益及び損益)

セグメントごとの売上収益及び事業利益(△は損失)は以下のとおりです。

2024年3月期第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)

(単位:百万円)

セグメント		2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比
モビリティ&テレマティクス サービス分野	売上収益	148,380	148,800	+420
	事業利益	4,266	3,073	△1,192
セーフティ&セキュリティ分野	売上収益	51,986	69,900	+17,913
	事業利益	6,478	13,293	+6,814
エンタテインメント ソリューションズ分野	売上収益	41,737	41,995	+258
	事業利益	421	△186	△607
その他	売上収益	5,393	6,561	+1,167
	事業利益	50	△165	△216
合計	売上収益	247,497	267,258	+19,760
	事業利益	11,216	16,015	+4,798

## \*モビリティ&amp;テレマティクスサービス分野

当第3四半期連結累計期間におけるモビリティ&テレマティクスサービス分野の売上収益は、前年同期比で約4億円増(0.3%増収)となる1,488億円、事業利益は同約12億円減となる30億73百万円となりました。

なお、事業利益には為替ヘッジによるマイナス影響として約16億円が含まれており、この為替ヘッジによる影響を控除して算出した同分野の事業利益は、前年同期比で増益となっています。

## (売上収益)

OEM事業は、国内で用品の販売が堅調に推移したことや、欧州子会社のASK Industries S.p.A.の販売が、前期に引き続き好調に推移したことなどから、前年同期比で増収となりました。

アフターマーケット事業は、主に米国の大手量販店の在庫調整にともなう販売減の影響を受けたことなどから、前年同期比で減収となりました。

テレマティクスサービス事業は、損害保険会社向け通信型ドライブレコーダーなどのテレマティクスソリューション関連商品の販売が減少したことから、前年同期比で減収となりました。

## (事業利益)

為替ヘッジによるマイナス影響に加え、アフターマーケット事業及びテレマティクスサービス事業が減収の影響を受けたことから、OEM事業は増収効果により前年同期比で増益となったものの、モビリティ&テレマティクスサービス分野全体では、前年同期比で減益となりました。

## \*セーフティ&amp;セキュリティ分野

当第3四半期連結累計期間におけるセーフティ&セキュリティ分野の売上収益は、前年同期比で約179億円増(34.5%増収)となる699億円、事業利益は同約68億円増となる132億93百万円となりました。

## (売上収益)

無線システム事業は、米国を始めとする海外市場において販売が非常に好調に推移したことなどから、前年同期比で約171億円の大幅増収となりました。

業務用システム事業は、株式会社JVCケンウッド・公共産業システムで、鉄道など社会インフラ市場が回復傾向となったことなどから、前年同期比で約8億円の増収となりました。

## (事業利益)

無線システム事業が大幅増収により大幅増益となり、業務用システム事業も増収により損益が改善したことから、セーフティ&セキュリティ分野全体でも、前年同期比で大幅増益となりました。

## \*エンタテインメント ソリューションズ分野

当第3四半期連結累計期間におけるエンタテインメント ソリューションズ分野の売上収益は、前年同期比で約3億円増(0.6%増収)となる419億95百万円、事業利益は同約6億円減となる1億86百万円の損失となりました。

なお、メディア事業の業務用カメラ事業は今年度の市況などを考慮して業容を縮小することとし、これにともない当第3四半期連結会計期間に構造改革費用として部材の損失引当約8億円を計上いたしました。この損失引当を控除して算出した同分野の事業利益は、前年同期比で増益となっています。

## (売上収益)

メディア事業は、前期第1四半期連結会計期間に実施した生産移管にともなう生産減の影響からプロジェクターの販売は回復したものの、業務用カメラなどの販売が減少したことなどから、前年同期比で約14億円の減収となりました。

エンタテインメント事業は、コンテンツビジネスの販売が好調に推移したことなどから、前年同期比で約17億円の増収となりました。

## (事業利益)

エンタテインメント事業は増収効果により前年同期比で増益となったものの、メディア事業において減収の影響に加えて、業務用カメラ事業の構造改革費用として部材の損失引当約8億円を計上したことなどから、エンタテインメントソリューションズ分野全体では前年同期比で減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債、資本等の状況に関する分析)

## \*資産

資産合計は、現金及び現金同等物は減少しましたが、営業債権及びその他の債権や有形固定資産が増加したことなどから、前連結会計年度末比で約75億円増となる3,068億47百万円となりました。

## \*負債

負債合計は、営業債務及びその他の債務は増加しましたが、銀行借入金の返済を進めたことなどから、前連結会計年度末比で約21億円減となる1,935億22百万円となりました。

## \*資本

資本合計は、自己株式の取得による減少はありましたが、利益剰余金が約90億円増加したことに加え、主要通貨に対して円安が進んだことにより、その他の資本の構成要素が増加したことなどから、前連結会計年度末比で約96億円増となる1,133億24百万円となりました。

なお、親会社所有者帰属持分比率は、親会社の所有者に帰属する持分合計が増加したことなどから、前連結会計年度末比から1.9ポイント増加し34.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況に関する分析)

## \*営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は228億84百万円となり、前年同期比で約72億円収入が増加しました。主な要因は、棚卸資産が減少したことによる運転資金の減少などによるものです。

## \*投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は129億38百万円となり、前年同期比で約120億円支出が増加しました。主な要因は、新社屋の建設などにともない有形固定資産の取得による支出が増加したことと、有形固定資産の売却による収入が大きく減少したことなどによるものです。

## \*財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間において財務活動により減少した資金は167億85百万円となり、前年同期比で約16億円支出が増加しました。主な要因は、増配及び自己株式の取得による支出の増加などによるものです。

なお、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比で約14億円増となる512億98百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2024年3月期の業績予想について)

当第3四半期連結累計期間については、セーフティ&セキュリティ分野の無線システム事業の好調継続に加え、モビリティ&テレマティクスサービス分野のOEM事業が堅調に推移したことなどから、全社では想定を上回る実績となりました。

第4四半期連結会計期間についても、世界情勢がますます緊迫化する中で、BCP<sup>※</sup>やセキュリティ対策として無線システムの堅調な需要が見込まれるものの、国内自動車メーカーの生産・販売減や能登半島地震による影響が不透明であることなどから、2023年10月31日に公表しました2024年3月期通期連結業績予想を据え置きます。

※Business Continuity Plan (事業継続計画)

(単位：百万円)

	2023年3月期 連結業績	2024年3月期 業績予想 (2023年10月31日発表)	前年 同期比	
売上収益	336,910	355,000	+18,090	
事業利益 <sup>※</sup>	15,836	18,500	+2,664	
営業利益	21,634	16,500	△5,134	
税引前利益	21,161	15,500	△5,661	
親会社の所有者に帰属する当期利益	16,229	10,500	△5,729	
為替レート	(米ドル)	135円	147円	+12円
	(ユーロ)	141円	150円	+9円

※売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含みません。なお当期より、「コア営業利益」から「事業利益」に名称を変更しております。

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	56,186	51,298
営業債権及びその他の債権	58,157	63,590
契約資産	2,996	4,332
その他の金融資産	3,552	3,380
棚卸資産	67,830	66,990
製品回収権	261	243
未収法人所得税等	976	1,298
その他の流動資産	6,231	5,943
小計	196,191	197,079
売却目的で保有する資産	995	884
流動資産合計	197,187	197,963
非流動資産		
有形固定資産	54,721	59,138
のれん	2,379	2,565
無形資産	18,065	18,857
退職給付に係る資産	1,933	1,713
投資不動産	3,817	3,911
持分法で会計処理されている投資	4,983	5,830
その他の金融資産	9,758	10,581
繰延税金資産	6,128	5,944
その他の非流動資産	380	342
非流動資産合計	102,167	108,884
資産合計	299,355	306,847



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	52,868	55,505
契約負債	4,088	3,886
返金負債	5,084	5,176
借入金	26,292	24,362
その他の金融負債	4,643	5,331
未払法人所得税等	2,995	1,529
引当金	1,814	1,993
その他の流動負債	26,062	24,720
流動負債合計	123,849	122,505
非流動負債		
借入金	36,190	34,473
その他の金融負債	11,999	13,450
退職給付に係る負債	18,459	18,132
引当金	1,252	1,314
繰延税金負債	2,981	2,735
その他の非流動負債	890	911
非流動負債合計	71,774	71,017
負債合計	195,624	193,522
資本		
資本金	13,645	13,645
資本剰余金	42,029	42,161
利益剰余金	28,811	37,774
自己株式	△140	△7,129
その他の資本の構成要素	14,461	20,579
親会社の所有者に帰属する持分合計	98,807	107,031
非支配持分	4,923	6,293
資本合計	103,731	113,324
負債及び資本合計	299,355	306,847

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	247,497	267,258
売上原価	178,477	186,181
売上総利益	69,020	81,076
販売費及び一般管理費	57,803	65,061
その他の収益	11,563	1,905
その他の費用	2,645	2,878
為替差損益 (△は損失)	△628	△59
営業利益	19,506	14,982
金融収益	314	676
金融費用	941	1,116
持分法による投資損益 (△は損失)	464	390
税引前四半期利益	19,343	14,932
法人所得税費用	3,314	3,362
四半期利益	16,029	11,569
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	15,513	10,922
非支配持分	515	646
四半期利益	16,029	11,569
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	94.89円	70.24円
希薄化後1株当たり四半期利益	94.75円	69.88円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	16,029	11,569
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	26	217
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	3	△10
純損益に振り替えられることのない項目合計	30	207
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	4,077	5,868
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△486	△34
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	△112	318
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	3,478	6,152
その他の包括利益合計	3,508	6,359
四半期包括利益	19,537	17,928
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	18,808	17,043
非支配持分	728	885
四半期包括利益	19,537	17,928

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の外貨換算差額
2022年4月1日時点の残高	13,645	42,112	13,346	△140	—	1,002	6,176
四半期利益			15,513				
その他の包括利益						30	3,826
四半期包括利益	—	—	15,513	—	—	30	3,826
自己株式の取得				△0			
株式報酬取引		20					
配当金			△980				
連結範囲の変動							
子会社に対する所有持分の変動		△111					
子会社の増資による非支配持分の増減							
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△26			26	
所有者との取引額合計	—	△90	△1,007	△0	—	26	—
2022年12月31日時点の残高	13,645	42,022	27,852	△140	—	1,059	10,003

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	投資不動産の公正価値	合計			
2022年4月1日時点の残高	2,960	391	10,530	79,495	4,465	83,961
四半期利益			—	15,513	515	16,029
その他の包括利益	△561		3,295	3,295	213	3,508
四半期包括利益	△561	—	3,295	18,808	728	19,537
自己株式の取得			—	△0		△0
株式報酬取引			—	20		20
配当金			—	△980	△6	△987
連結範囲の変動			—	—		—
子会社に対する所有持分の変動			—	△111	17	△93
子会社の増資による非支配持分の増減			—	—	121	121
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			26	—		—
所有者との取引額合計	—	—	26	△1,071	131	△939
2022年12月31日時点の残高	2,398	391	13,852	97,232	5,326	102,558

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の外貨換算差額
2023年4月1日時点の残高	13,645	42,029	28,811	△140	—	921	11,503
四半期利益			10,922				
その他の包括利益						207	5,868
四半期包括利益	—	—	10,922	—	—	207	5,868
自己株式の取得		△12		△7,001			
株式報酬取引		144		11			
配当金			△1,961				
連結範囲の変動							
子会社に対する所有持分の変動							
子会社の増資による非支配持分の増減							
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1			△1	
所有者との取引額合計	—	131	△1,960	△6,989	—	△1	—
2023年12月31日時点の残高	13,645	42,161	37,774	△7,129	—	1,127	17,371

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	投資不動産の公正価値	合計			
2023年4月1日時点の残高	1,644	391	14,461	98,807	4,923	103,731
四半期利益			—	10,922	646	11,569
その他の包括利益	44		6,120	6,120	238	6,359
四半期包括利益	44	—	6,120	17,043	885	17,928
自己株式の取得			—	△7,014		△7,014
株式報酬取引			—	156		156
配当金			—	△1,961	△20	△1,982
連結範囲の変動			—	—	306	306
子会社に対する所有持分の変動			—	—		—
子会社の増資による非支配持分の増減			—	—	198	198
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△1	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△1	△8,819	484	△8,334
2023年12月31日時点の残高	1,689	391	20,579	107,031	6,293	113,324

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,343	14,932
減価償却費及び償却費	13,049	13,554
減損損失	972	421
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,101	△472
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	312	220
金融収益	△314	△676
金融費用	941	1,116
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の評価損益(△は益)	△815	△194
固定資産売却損益(△は益)	△9,764	△402
固定資産除却損	37	53
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	5,074	△2,568
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,852	4,107
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,956	1,118
未払費用の増減額(△は減少)	△1,114	△2,860
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,250	326
その他	△562	△1,613
小計	18,414	27,061
利息の受取額	213	585
配当金の受取額	63	276
利息の支払額	△805	△1,002
法人所得税の支払額	△2,200	△4,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,684	22,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,504	△7,671
有形固定資産の売却による収入	11,296	1,645
無形資産の取得による支出	△6,314	△6,560
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△300	△888
負債性金融商品からの分配による収入	—	712
その他	△140	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△962	△12,938
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,261	4,370
短期借入金の返済による支出	△9,865	△5,274
長期借入れによる収入	12,088	6,573
長期借入金の返済による支出	△20,236	△10,527
リース負債の返済による支出	△2,731	△2,862
自己株式の取得による支出	△0	△7,001
配当金の支払額	△980	△1,961
その他	△699	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,164	△16,785
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,633	2,052
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,191	△4,787
現金及び現金同等物の期首残高	48,707	56,186
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物	—	△99
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△32	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,865	51,298

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しています。

## ・IAS第12号「法人所得税」

当社グループは、「単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金」(IAS第12号「法人所得税」の修正)を第1四半期連結会計期間より適用しています。なお、当該基準の適用が当社グループの当要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、各分野に分野責任者を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社グループは、製品を製造し販売する従来型の「製造販売業」から、顧客の課題を解決するためのソリューションを提供する「顧客価値創造企業」への進化を図るため、「モビリティ&テレマティクスサービス分野」「セーフティ&セキュリティ分野」「エンタテインメント ソリューションズ分野」の3つの顧客業界分野別組織で事業活動を展開しており、報告セグメントの区分もこのとおりです。

第1四半期連結会計期間より、従来の「パブリックサービス分野」を「セーフティ&セキュリティ分野」に、「メディアサービス分野」を「エンタテインメント ソリューションズ分野」に名称変更しています。

各報告セグメント区分の主な製品・サービス又は事業内容は、以下のとおりです。

モビリティ&テレマティクスサービス分野	カーAVシステム、カーナビゲーションシステム、ドライブレコーダー、車載用デバイス等の製造・販売、テレマティクスソリューション
セーフティ&セキュリティ分野	業務用無線機器、アマチュア無線機器、業務用映像監視機器、業務用オーディオ機器及び医用画像表示モニター等の製造・販売
エンタテインメントソリューションズ分野	業務用ビデオカメラ、プロジェクター、ヘッドホン、ホームオーディオ、ポータブル電源等の製造・販売、CD/DVD(パッケージソフト)等の受託ビジネス、CD/DVD(パッケージソフト)の製造、オーディオ・ビデオソフト・配信等のコンテンツ等
その他	サービスパーツ他

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失  
当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額	
	モビリティ &テレマテ イクスサー ビス分野	セーフティ &セキュリ ティ分野	エンタテイ ンメント ソリューションズ 分野	計					
売上収益									
外部顧客への売上収益	148,380	51,986	41,737	242,104	5,393	247,497	—	247,497	
セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	148,380	51,986	41,737	242,104	5,393	247,497	—	247,497	
セグメント利益(注)	4,266	6,478	421	11,165	50	11,216	—	11,216	
その他の収益									11,563
その他の費用									2,645
為替差損益(△は損失)									△628
営業利益									19,506
金融収益									314
金融費用									941
持分法による投資損益(△は損失)									464
税引前四半期利益									19,343

(注) セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した事業利益で表示しています。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額	
	モビリティ &テレマテ イクスサー ビス分野	セーフティ &セキュリ ティ分野	エンタテイ ンメント ソリューションズ 分野	計					
売上収益									
外部顧客への売上収益	148,800	69,900	41,995	260,696	6,561	267,258	—	267,258	
セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	148,800	69,900	41,995	260,696	6,561	267,258	—	267,258	
セグメント利益(△は損失) (注)	3,073	13,293	△186	16,180	△165	16,015	—	16,015	
その他の収益									1,905
その他の費用									2,878
為替差損益(△は損失)									△59
営業利益									14,982
金融収益									676
金融費用									1,116
持分法による投資損益(△は損失)									390
税引前四半期利益									14,932

(注) セグメント利益(△は損失)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した事業利益で表示しています。